

NEWS RELEASE (2022年3月14日) 取材依頼

**【博物館・農林水産】奄美大島から日本初記録となるハゼ科魚類を確認、
モンロユカタハゼと命名**

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。

このたび、鹿児島大学総合研究博物館と横須賀市立自然・人文博物館の研究チームはハゼ科ユカタハゼ属の一種 *Hazeus profusus* (ハゼウス・プロフス) を日本から初めて記録し、新標準和名としてモンロユカタハゼと命名しました。モンロ(紋縞)はユカタ(浴衣)を代表とする和服に用いられる織物の一種である「縞」に文様を織り出したもので、本種の明瞭な体の模様や孔器列がそれぞれ縞の文様と穴(縞目)を連想させることに因みます。本研究の成果は日本動物分類学会が発行する査読付き和文誌タクサで2022年3月1日に出版されました。

つきましては、次のとおりお知らせいたしますので、是非とも取材・報道いただきますようよろしくお願いいたします。

【概要】

Hazeus profusus はフィリピン、インドネシア、パプアニューギニア、およびソロモン諸島で採集された標本に基づき、2021年に新種として記載されました。本種はこれまで日本国内における分布が確認されていませんでしたが、1999年に奄美大島の瀬戸内町沿岸から採集され、「ユカタハゼ属の一種」として博物館に所蔵されていた標本を調査したところ、本種であることが確認されました。

本報告で使用された標本は内湾の水深5-30mにかけて広がる急勾配の砂泥底斜面の水深10m付近に単独でいたところを採集されました。また、これまで本種の分布の北限はフィリピンのルソン島でしたが、本研究により奄美大島における生息が確認されたため、本種の分布北限が1000km以上も更新されました。

【掲載論文】奄美大島から得られた日本初記録のユカタハゼ属魚類モンロユカタハゼ(新称)

【著者】

古橋龍星・萩原清司・本村浩之

【掲載誌】日本動物分類学会誌タクサ, 52: 32-36

【DOI】

10.19004/taxa.52.0_32

https://www.jstage.jst.go.jp/article/taxa/52/0/52_32/_article/-char/ja

【関連ページ】

総合研究博物館 本村浩之教授 ホームページ

<http://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/motomura.html>

写真の説明文



モノロユカタハゼ（奄美大島産；萩原清司氏撮影）

【問い合わせ先】

鹿児島大学総合研究博物館 館長・教授

本村 浩之（モトムラ ヒロユキ）

〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30

TEL：099-285-8111

E-mail：motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp

※ 取材される際は、新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底をお願いいたします。